

学校運営協議会 議事録

校名	府立りんくう翔南高等学校
校長名	藤田 繁也

開催日時	令和2年7月17日(金)午後1時30分～午後3時
開催場所	大阪府立りんくう翔南高等学校 プレゼンテーションルーム
出席者(委員)	江田優紀、山口 晃、寺脇久人、岡崎 裕、筑紫 繁人、田中 正視
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、井内、田中、谷名、西川、若狭、細見 堀内、宮武、井戸本
傍聴者	---
協議資料	(確認資料)令和2年度学校経営計画について(令和元年度第3回で協議・承認済)
備考	

議題等(次第順)

1. 校長挨拶
2. 学校運営協議会要綱説明
3. 委員、出席者紹介
4. 会長・副会長選出 会長には西信達中学校山口晃校長、副会長には和歌山大学大学院岡崎裕教授を選出。
5. 今年度の取り組みと現状報告
 - 令和2年度学校経営計画について
 - 新型コロナウイルス感染症の影響について
 - 教科書選定について
 - 授業アンケートの予定と内容について
 - 令和元年度の進路状況と令和2年度の進路指導にかかる日程について
 - 保健室及び教育相談の来室状況について
 - 令和元年度 生徒指導の報告と令和2年度の現状について
 - 国際交流について
 - 各学年の状況について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

(質疑応答)

- ・オンライン授業について 現在の実施状況は(学識経験者)
 - 現在実施に向けて、教職員全員に動画作成のトレーニングをお願いしている。また生徒全員と教職員のアカウントを設定しているが、現段階でオンライン授業は実施していない。あくまで準備中である。生徒の通信環境では、ほぼ全員がインターネット環境にアクセスできる状況。Wi-Fi環境も過半数の生徒には整っている。ただし、プリントアウトはほとんどできない状況。
 - ・学校でコロナが発生したらどういう対応になるのか(教育従事者)一時的に休校、その後再び土曜日等に授業を振替ざるを得ない。
 - ・どのくらい教員がオンライン授業教材を作成したのか?→現段階では85%の教員が作成。100%に向けて取り組んでいる。
 - ・不安からくるストレスが計り知れないと思うが、生徒はこの状況をどう受け止めているか?この地域を支える貴重な人材なので、大変な時期のストレスを受け止め、将来の足場を固めるよう、導いてほしい。(地域住民 要望)
 - ・りん翔SORAプロジェクト、今年はどうするのか?(地域・学識)→訪問も含め実施予定だが、どのような形になるか検討中。
 - ・りん翔SORAプロジェクト、代表団が全生徒の1%と少ない。本来全員で交流できればいいのだが、今、インターネット会議などが発展しているので、これを活用すればどうか。また、協力させていただく(学識経験者)。
 - ・自分もテレビ会議を活用しているので、協力は可能(地域住民)

※すべての議事、運営協議員によって承認。

次回の会議日程

日時	令和2年7月 日()00:00～ 日程は後日調整
会場	本校プレゼンテーションルーム